

■宿泊約款

適用範囲

- 第 1 条 当館が宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令等（法令又は法令に基づくものをいう。以下同じ。）又は一般に確立された慣習によるものとしします。
2. 当館が、法令等及び慣習に反しない範囲で特約に応じた時は、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとしします。

宿泊契約の申込み

- 第 2 条 当館に宿泊契約の申込みをしようとする方は、次の事項を当館にお申し出いただきます。
- (1) 宿泊者名及び宿泊人数
 - (2) 宿泊日及び到着予定時刻
 - (3) 宿泊料金（原則として別表第 1 の基本宿泊料による）
 - (4) a. 申込者名及びその連絡先
b. 宿泊料金の支払者名及びその連絡先
 - (5) その他当館が必要と認める事項
2. 宿泊客が、宿泊中に前項第 2 号の宿泊日を越えて宿泊の継続を申し入れた場合、当館は、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。

宿泊契約の成立等

- 第 3 条 宿泊契約は、当館が前条の申込みを承諾した時、承諾の旨をインターネットの当館の予約受付用サイト URL（以下、当サイトといいます）に表示した時、または、その旨の電子メールが宿泊客の指定するメールアドレスを管理するサーバーに到達した時に成立するものとしします。ただし、当館が承諾をしなかったことを証明したときはこの限りではありません。
2. 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間（3 日を越えるときは 3 日間）の基本宿泊料を限度として当館が定める申込金を、当館が指定する期日までに、お支払いいただきます。
3. 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第 6 条及び第 18 条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第 12 条の規定による料金の支払いの際に返還します。
4. 第 2 項の申込金を同項の規定により当館が指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとしします。ただし、申込金の支払い期日を指定するにあたり、当館がその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。
5. 当館が当サイトに誤った宿泊料金を提示し、当該宿泊料金に基づき宿泊契約の申し込みをされ、当館が承諾した場合は、当該料金がその前後の期日の宿泊料金に比べて著しく低廉であるときは、当該料金につき「限定」、「特別」、「キャンペーン」等の低廉である理由の表示のない限りは、民法上の錯誤による承諾であることから、宿泊契約は無効とさせていただきます、速やかにその旨の通知を差し上げます。

申込金の支払いを要しないこととする特約

- 第 4 条 前条第 2 項の規定にかかわらず、当館は、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。
2. 宿泊契約の申込みを承諾するにあたり、当館が前条第 2 項の申込金の支払いを求めなかった場合、及び当該申込金の支払い期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

施設における感染防止対策への協力の求め

- 第 4 条の 2 当館は、宿泊しようとする者に対し、旅館業法（昭和 23 年法律第 138 号）第 4 条の 2 第 1 項の規定による協力を求めることができます。

宿泊契約締結の拒否

- 第 5 条 当館は、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。ただし、本項は、当館が、旅館業法第 5 条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。
- (1) 宿泊の申し込みが、この約款によらないとき。
 - (2) 満室（員）により客室の余裕がないとき。
 - (3) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をする恐れがあると認められるとき。
 - (4) 宿泊しようとする者が暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 2 条第 2 号に規定する暴力団（以下「暴力団」という。）、同法第 2 条第 6 号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会勢力と認められるとき。
 - (5) 宿泊しようとする者が暴力団、又は暴力団員が事業活動を支配する法人、その他の団体であるとき。
 - (6) 宿泊しようとする者が法人で、その役員のうち暴力団員に該当するとき。
 - (7) 宿泊しようとする者が宿泊施設、若しくは宿泊施設従業員に対し、暴力、脅迫、恐喝、恫喝等、威圧的な不当要求を行い、あるいは合理的な範囲を超える負担を要求したとき（宿泊しようとする者が障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成 25 年法律第 65 号。以下「障害者差別解消法」という。）第 7 条第 2 項又は第 8 条第 2 項の規定による社会的障壁の除去を求める場合は除く。）またはかつて同様な行為を当館、若しくは他ホテル等で行ったと認められるとき。
 - (8) 宿泊しようとする者が、当館に対し、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第 5 条の 6 で定めるものを繰り返したとき。
 - (9) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
 - (10) 宿泊しようとする者が、泥酔などで他の宿泊客に著しく迷惑を及ぼす恐れがあると認められたとき。

- (11) 宿泊しようとする者が、旅館業法第4条の2第1項第2号に規定する特定感染症の患者等(以下「特定感染症の患者等」という。)であるとき。
- (12) 宿泊しようとする者が不当な割引、契約にない送迎等過剰なサービスを要求したとき。
- (13) 宿泊しようとする者が対面や電話等により、長時間にわたり不当な要求を行ったとき。
- (14) 宿泊しようとする者が、要求の内容の妥当性に照らして当該要求を実現する為の手段・態様が不相当なものを繰り返し求める行為をしたとき。
- (15) 京都府旅館業法施行条例第4条の規定する場合に該当するとき。

宿泊契約締結の拒否の説明

第5条の2 宿泊しようとする者は、当館に対し、当館が前条に基づいて宿泊契約の締結に応じない場合、その理由の説明を求めることができます。

宿泊客の契約解除権

- 第6条 宿泊客は、当館に申し出て、宿泊契約を解除することができます。
- 2. 当館は、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約を全部又は一部を解除した場合(第3条第2項の規定により当館が申込金の支払い期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いにより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます)は、別表2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当館が第4条第1項の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じるにあたって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払い義務について、当館が宿泊客に告知したときに限ります。
 - 3. 当館は、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後8時(あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻)になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし、処理することがあります。

当館の契約解除権

- 第7条 当館は次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。ただし、本項は、当館が、旅館業法第5条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。
- (1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反するおそれがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき。
 - (2) 天災など不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
 - (3) 宿泊客が泥酔などにより、他の宿泊客に影響を及ぼすおそれがあると認められるとき。あるいは宿泊客が他の宿泊客に著しく迷惑を及ぼす言動をしたとき。
 - (4) 当館が定める利用規則の禁止事項に従わないとき。
 - (5) 寝室での寝たばこ、消防用設備などに対するいたずら、その他当館が定める利用規則の禁止事項(火災予防上必要なものに限る)に従わないとき。
 - (6) 宿泊客が暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団(以下「暴力団」という。)、同法第2条第6号に規定する暴力団員(以下「暴力団員」という。)、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会勢力と判明したとき。

- (7) 宿泊客が暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人、その他団体と判明したとき。
- (8) 宿泊客が法人でその役員のうち暴力団員に該当する者と判明したとき。
- (9) 宿泊客が宿泊施設、若しくは宿泊施設従業員に対し、暴力、脅迫、恐喝、恫喝等、威圧的な不当要求を行い、あるいは合理的な範囲を超える負担を要求したとき、またはかつて同様な行為を当館、若しくは他のホテル等で行ったことが判明したとき。
- (10) 京都府旅館業法施行条例第4条の規定する場合に該当するとき。
- (11) その他宿泊契約締結の拒否の規定に準じる。

- 2. 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がまだ提供をうけていない宿泊サービスなどの料金はいただきません。

宿泊契約解除の説明

第7条の2 宿泊客は、当館に対し、当館が前条に基づいて宿泊契約を解除した場合、その理由の説明を求めることができます。

宿泊の登録

- 第8条 宿泊客には、宿泊日当日、当館のフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。
- (1) 宿泊客の氏名、年齢、性別、住所及び連絡先
 - (2) 日本国内に住所を有しない外国人にあっては、国籍及び旅券番号(パスポートのコピー)
 - (3) その他当館が必要と認める事項
2. 宿泊客が第12条の料金の支払いを、旅行小切手、宿泊券、クレジットカードなど通貨に代わり得る方法より行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時のそれらを呈示していただきます。
3. 外国人においては、本人確認のため旅券(または在留カード)のコピーを取らせていただきます。

客室の使用時間

- 第9条 宿泊客が当館の客室を使用できる時間は、午後3時から翌日の午前10時までとします。ただし、連続して宿泊する場合において、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。
- 2. 当館は、前項の既定にもかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応ずることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。
- (1) 超過3時間までは、室料金の30%
 - (2) 超過6時間までは、室料金の50%
 - (3) 超過6時間以上は、室料金の100%

利用規則の遵守

- 第10条 宿泊客は当館内においては、宿泊約款および当館が定めて館内に掲示した利用規則(施設内に表示されているご案内等を含みます)に従っていただきます。
- 2. 宿泊客は、前項のほか、当館が安全、衛生上の観点から適切であると判断して行う指示に従っていただきます。宿泊客が正当な事由なく当館の指示に従わない場合、第5条及び第7条の規定に準じて、当館宿泊を拒絶し、又は宿泊契約を解除し、宿泊客に当館から退去していただくことがあります。

3. 宿泊客が正当な事由なく第 1 項又は前項に基づく当館の指示に従わない場合、第 5 条及び第 7 条の規定に準じて、宿泊を拒絶し、又は宿泊契約を解除し、宿泊客に当館から退去していただくことがあります。

営業時間

第 11 条 当館の主な施設の営業時間は次の通りとし、その他の施設の詳しい営業時間は備え付けのパンフレット、各所の表示、客室内の館内案内などでご案内いたします。

- (1) フロントサービス時間
 - イ 門限 23:00
 - ロ フロントサービス 07:00～23:00
- (2) 飲食等サービス時間
 - イ 朝食（和食処 花水庵） 07:00～10:00
 - ロ 昼食（和食処 花水庵） 11:30～14:00
 - ハ 夕食（和食処 花水庵） 17:30～20:30
- (3) 付帯施設サービス時間
 - イ 喫茶（カフェ かりん） 08:30～18:00
 - ロ 売店（お土産店） 08:30～19:30
 - ハ 大浴場 15:00～23:00
06:00～09:00

2. 前項の時間は、必要やむを得ない場合には臨時変更することがあります。その場合には適当な方法をもってお知らせします。

料金の支払い

- 第 12 条 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳は別表 1 に掲げるところによるものによります。
2. 前項の宿泊料金などの支払いは、通貨又は当館が認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカードなど、これに代わりうる方法により、宿泊客の出発の際、又は当館が請求した時、フロントにおいて行っていただきます。
 3. 当館が宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

当館の責任

第 13 条 当館は、宿泊契約及びこれに関する契約の履行にあたり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当館の責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。

契約した客室の提供ができないときの取扱い

- 第 14 条 当館は、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設を斡旋するものとします。
2. 当館は、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設の斡旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害補償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当館の責めに帰すべき事由がないときは補償料を支払いません。

寄託物の取扱い

第 15 条 宿泊客がフロントにお預けになった物品または現金並びに貴重品について、滅失、毀損などの損害が生じたときは、それが不可抗力である場合を除き、当館は、その損害を賠償します。但し、現金及び貴重品については、当館がその種類及び価額の明告を求めた場合で、宿泊客がそれを行わなかったときは、当館は 15 万円を限度としてその損害を賠償します。

2. 宿泊客が、当館内にお持ち込みになった物品又は現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについて、当館の故意または過失により滅失、毀損などの障害が生じた場合以外は、当館は賠償いたしかねます。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価額の明告のなかったものについては、15 万円を限度として当館はその損害を賠償します。

宿泊客の手荷物又は携帯品の保管

- 第 16 条 宿泊客の手荷物が宿泊に先立って当館に到着した場合は、その到着前に当館が了解したときに限って責任を持って保管します。手荷物は、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡しします。
2. 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当館に置き忘れられていた場合において、その所有者が判明した時は、当館は当該所有者に連絡するとともにその指示を求めるものとします。ただし、所有者の指示がない場合、または所有者が判明しないときは、遺失物法に基づき処理します。
 3. 前 2 項の場合における宿泊客の手荷物または携帯品の保管についての当館の責任は、本条第 1 項の場合にあっては前条第 1 項の規定に、本条第 2 項の場合にあっては前条第 2 項の規定に準じるものとします。

インターネット通信

- 第 17 条 当館内のインターネット通信の利用に当たっては、宿泊客自身の責任において行うものとします。
2. システム障害その他の理由により予告なくサービスが中断または終了することがあります。
 3. インターネット通信利用中のシステム障害その他の理由によりサービスが中断し、その結果、宿泊客にいかなる損害が生じても、当館の責めに帰すべき事由によるものでないときは、当館は一切責任を負いません。
 4. インターネット通信の利用に際し当館が不適切と判断した行為により、当館及び第三者に損害が見込まれる場合また実際に生じた場合は、当該サービスの利用中止を求め、生じた損害については賠償していただきます。

駐車場の責任

第 18 条 宿泊客が当館提携の駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当館は場所を紹介するものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。

宿泊客の責任

第 19 条 宿泊客の故意または過失により当館が損害を被ったときは、当該宿泊客は当館に対し、その損害を賠償していただきます。

喫煙について

- 第 20 条 当館内は全面的に禁煙となっているため、喫煙所はありません。客室その他館内では喫煙（電子タバコ、加熱式タバコ等含む。以下本条において同じ）なさないでください。
2. 喫煙されるときは、次の喫煙所でお願いします。
 - ・ 1 階正面エントランス横喫煙所
 - ・ 地下 1 階エントランス喫煙所
 3. 客室その他館内での喫煙や吸い殻が確認された場合、クリーニング代及び客室損害保証金として 10 万円を申し受けます。

個人情報の取扱い

第 21 条 当館では、お客様から提供される個人情報について、当館のプライバシーポリシーに則り、適切に取扱います。

別表第 1 宿泊料金等の内訳（第 2 条第 1 項および第 12 条第 1 項関係）

		内 訳
宿泊客が支払うべき総額	宿泊料金	①基本宿泊料（室料）
	追加料金	②飲食料 ③その他利用料金
	税 金	④消費税 ⑤宿泊税

別表第 2 違約金（第 6 条第 2 項関係）

解約申込人数 解除通知 日		不泊	当日	前日	9 日前	20 日前
一般	14 名まで	100%	80%	20%		
団体	15 名～49 名まで	100%	80%	20%	10%	
	50 名以上	100%	100%	80%	20%	10%

（注）1. %は、基本宿泊料に対する違約金の比率です

2. 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず、1 日分(初日)の違約金を収受します

3. 団体客(15 名以上)の一部について契約の解除があった場合、宿泊の 10 日前(その日より後に申込みをお引き受けした場合にはそのお引き受けした日)における宿泊人数の 10%(端数が出た場合には切り上げる)にあたる人数については、違約金はいただきません。

■ Terms and Conditions for Accommodation

Scope of Application

- Article 1. Contracts for accommodation and related agreements to be entered into between this Hotel and the Guest to be accommodated shall be subject to these Terms and Conditions. Any particulars not provided herein shall be governed by laws and regulations ("laws and regulations," or those based on laws and regulations. The same shall apply hereinafter) and/or generally accepted practices.
2. When the hotel enters into a special contract with the Guest, the special contract shall prevail any ordinances or established practices.

Application for Accommodation Contract

- Article 2. Guest(s) who wishes to apply for an Accommodation Contract with the Hotel shall provide the Hotel with the following information.
- (1) Name(s) of the Guest(s).
 - (2) Date(s) of accommodation and the estimated time of arrival.
 - (3) Accommodation charges (as a rule, based upon the Basic Accommodation Charges stipulated in Attached Table 1).
 - (4) a. Name(s) and contact information of the applicant.
b. Name(s) and contact information of the payer for the accommodation charges.
 - (5) Any other information deemed necessary by the Hotel.
2. In the event a Guest requests a continuation of accommodation during his or her stay, which will extend beyond the date described in the preceding subparagraph (2), the hotel will consider this as a new application for an accommodation contract and process it as such.

Conclusion of Accommodation Contract, etc.

- Article 3. An Accommodation Contract shall be considered to have been established when the Hotel approves the application described in the preceding Article, when confirmation of acceptance is displayed on the reservation website of the Hotel (hereinafter referred to as "the Site"), or when an e-mail to that effect reaches the email server designated by the Guest. However, the same shall not apply when it has been shown that the Hotel has not accepted the application.
2. Upon the conclusion of the Accommodation Contract the Guest shall pay the Basic Accommodation Charges, up to a maximum of the charges for the period of stay (in cases in which the stay is to exceed 3 days, the charges for 3 days), to the Hotel by the payment date stipulated by the hotel as a deposit.
3. The deposit shall be first applied to the accommodation charges to be paid by the Guest at the end of his or her stay, and in the even an instance applicable to that described in Article 6 or Article 18 occurs, it shall be applied to the breach of contract charge and the reparations, in that order, with any remaining balance to be refunded at the time of payment defined in Article 12.
4. Failure to pay the deposit set forth in Paragraph 2 by the stipulated date will invalidate the Accommodation Contract. However, the same shall apply only when the guest has been informed in advance of the date on which the deposit payment is due.

CHION-IN WAJUN-KAIKAN

5. If the Hotel erroneously displays an incorrect accommodation rate on the Site and a Guest applies for an Accommodation Contract based on such rate, and the Hotel accepts the application, the Contract shall be deemed invalid on the grounds of mistake under the Civil Code, provided that the rate is significantly lower than the rates for the dates immediately before and after, and there is no indication that justifies the lower rate, such as "limited offer," "special rate," or "campaign." In such cases, the Hotel shall promptly notify the Guest to that effect.

Special Contracts Requiring No Deposit

- Article 4. Notwithstanding the provisions in Paragraph 2 of the preceding Article, the Hotel may enter into special contracts in which no deposit is required after the conclusion of the contract.
2. In the case in which the Hotel does not request the payment of the deposit described in Paragraph 2 of the preceding article and does not specify a date for the payment of a deposit at the time of the Hotel's acceptance of the application for an Accommodation Contract, the Hotel will be deemed to have concluded the special contract stipulated in the preceding paragraph.

Request for cooperation in infection control measures at facilities

- Article 4-2. The Hotel may request cooperation from the person who intends to stay at the hotel in accordance with the provisions of Article 4-2, Paragraph 1 of the Hotel Business Act (Act No. 138 of 1948).

Refusal of Accommodation Contracts

- Article 5. The Hotel may not accept the conclusion of an Accommodation Contract under any of the following circumstances. However, this paragraph does not mean that the Hotel may refuse accommodation in cases other than those listed in Article 5 of the Hotel Business Act.
- (1) When the application for Accommodation does not conform with the provisions of these and conditions.
 - (2) When the hotel is fully booked and no room is available.
 - (3) When the Guest seeking accommodation is deemed liable to conduct himself or herself in a manner which would violate the law or disrupt public order or morals.
 - (4) When the person who intends to stay at the Hotel is deemed to be an organized crime group as defined in Article 2, Item 2 of the Act on Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Group Members (Act No. 77 of 1991) (hereinafter referred to as an "Organized Crime Group"), a member of an organized crime group as defined in Item 6 of the same Article (hereinafter referred to as a "Member of an Organized Crime Group"), an associate member or affiliate of an organized crime group, or any other antisocial force.

- (5) When the person who intends to stay at the Hotel is a member of an Organized Crime Group, or when a corporation or other organization whose business activities are controlled by a member of an Organized Crime Group.
- (6) When the person who intends to stay at the Hotel is a corporation, and any of its executives are members of an Organized Crime Group.
- (7) When the person who intends to stay at the Hotel engages in any act of violence, threat, blackmail, intimidation, or any kind of coercive unreasonable demand, or making any demand that goes beyond the scope of what is considered a reasonable burden in this lodging facility or an employee of this lodging facility, (Excluding cases where the person seeking accommodation requests the removal of social barriers pursuant to the provisions of Article 7, Paragraph 2 or Article 8, Paragraph 2 of the Act (Act No. 65 of 2013. Hereinafter referred to as the “Act on Elimination of Discrimination against Persons with Disabilities”) or is confirmed to engage in any similar activity in this Hotel, or other hotels.
- (8) When the person who intends to stay in the Hotel has repeatedly made a request to the Hotel as specified in Article 5-6 of the Enforcement Regulations of the Hotel Business Act as a request whose burden is excessive in its implementation and which may seriously impede the provision of accommodation-related services to other guests.
- (9) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities, disfunction of the facilities and / or other unavoidable causes.
- (10) When the Guest is deemed liable to conduct and / or have conducted himself in a manner that will create a disturbance which annoys other guests, such as a dead-drunk and disorderly behavior (When Prefecture Ordinance is applicable).
- (11) When the person who intends to stay in the Hotel is a patient with a specified infectious disease as defined in Article 4-2, Paragraph 1, Item 2 of the Hotel Business Act (hereinafter referred to as “a Patient with a Specified Infectious Disease”).
- (12) When the person who intends to stay in the Hotel makes unreasonable demands for excessive services, such as unjustified discounts or transportation services not stipulated in the contract.
- (13) When the person who intends to stay in the Hotel makes unreasonable demands over a long time, whether in person, by telephone, or through other means.
- (14) When the person who intends to stay in the Hotel repeatedly makes demands using means or methods that are clearly inappropriate in light of the nature or reasonableness of the request.
- (15) When he provisions of Article 4 of the Kyoto Prefecture Ordinance concerning the enforcement of the “Ryokan” Business Law and applicable.

Explanation of refusal to conclude a contract of accommodation

Article 5-2. The person who intends to stay may request the Hotel to explain the reasons for its refusal to enter into a contract of accommodation in accordance with the preceding article.

The Guest's Right to Cancel the Accommodation Contract

Article 6. The Guest can cancel the contract by notifying the Hotel.

2. When the Guest requests cancellation and the Accommodation Contract is cancelled either in part or in whole for reasons for which the Guest is liable (excluding the case in which the payment of a deposit by a specified payment date has been requested of the Guest as stipulated in Article 3, Paragraph 2, and the cancellation occurs prior to the payment of the deposit) breach of contract fees shall be charged as set forth in Attached Table 2. However, in the event a special contract such as that described in Article 4, Paragraph 1 has been concluded, the responsibility to pay breach of contract charges upon cancellation shall arise only in the case where the Hotel has notified the Guest of said responsibility.
3. In the case where the Guest does not appear by 8:00pm on the scheduled date of arrival (or within two hours of the time of arrival in the case where the Guest has provided the Hotel with a time of arrival), the Guest and processed as such.

The Hotel's Right to Cancel the Accommodation contract

Article 7. The Hotel may cancel the Accommodation Contract under any of the following circumstances. However, this paragraph does not mean that this hotel may refuse accommodation in cases other than those listed in Article 5 of the Hotel Business Act.

- (1) When the Guest is deemed liable to conduct and / or have conducted himself in a manner that will contravene the laws or act against the public order and good morals in regard to him accommodation.
- (2) A Guest who has been determined to have been infected with a Specified Infectious Disease. Or, one who is considered at the risk of having contracted a Specified Infectious Disease.
- (3) When the hotel is unable provide accommodation due to natural calamities and / or other causes of force measures.
- (4) When the Guest is deemed liable to conduct and / or have conducted himself in a manner that will create a disturbance which annoys other guests, such as a dead drunk and disorderly behavior.
- (5) When activities defined as prohibited at this Hotel are willfully engaged in.
- (6) When the Guest does not refrain from prohibited actions such as smoking in a bed, vandalism of the fire equipment the fire-fighting facilities and other the Use Regulations stipulated by the Hotel (restricted to particulars deemed necessary in order to avoid the causing of fires).

- (7) When the Guest is an organized crime group as defined in Article 2, Item 2 of the Act on Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Group Members (Act No. 77 of 1991) (hereinafter referred to as an "Organized Crime Group"), a member of an organized crime group as defined in Item 6 of the same Article (hereinafter referred to as a "Member of an Organized Crime Group"), an associate member or affiliate of an organized crime group, or any other antisocial force.
- (8) The Guest is a syndicate organization, an employee of a syndicate organization, an organization affiliated with a syndicate organization or a person affiliated with such an organization or who has been determined to be socially affiliated with such organization or individuals.
- (9) The Guest is a syndicate organization, an organization directing the activities of the member of the syndicate organization, or who has been determined to be type of syndicate organization.
- (10) The Guest is an organization in which it has been determined that one of the directors falls in the category of member of a syndicate organization.
- (11) When the Guest engages in any act of violence, threat, blackmail, intimidation, or any kind of coercive unreasonable demand toward the accommodation facility or its employees, or makes demands that exceed what is considered a reasonable burden; or when it is found that the Guest has engaged in similar acts at this facility or at other hotels in the past.
- (12) When the provisions of Article 4 of the Kyoto Prefecture Ordinance concerning the enforcement of the "Ryokan" Business Law and applicable.
- (13) Shall be subject to the other provisions regarding refusal of accommodation contracts.

Explanation of Cancellation of Accommodation

Contract

Article 7-2. In the event that the Hotel cancels the accommodation contract in accordance with the preceding article, the Guest may request an explanation of the reasons for such cancellation.

Guest Registration

Article 8: On the day of check-in, the Guest shall be required to register the following information at the front desk of the Hotel.

- (1) Name, age, sex, address, contact information of the Guest(s).
 - (2) In the case of foreign nationals who do not have a residence in Japan, nationality and passport number (copy of passport).
 - (3) Date and time of departure.
 - (4) Any other information deemed necessary by the Hotel.
2. In the event the Guest intends to pay for the charges described in Article 12 using a credit card, coupon, traveler's check or instrument other than Japanese currency, the Guest shall notify the Hotel of such beforehand, at the time of registration described in the preceding paragraph.
 3. In the case of foreign nationals, a copy of their passport (or residence card) shall be taken for the purpose of identity verification.

Occupancy Hours of Guest Rooms

Article 9. The Guest may use the room from 3:00pm to 10:00am the following morning. However, in cases of continuous accommodation, the Guest may use the room throughout, save for the day of arrival and departure.

2. Notwithstanding the provisions described in the preceding paragraph, the Hotel may allow the Guest to use the room outside of the times stipulated therein. In this case, the following additional charges will apply.
 - (1) Up to 3hours : 30% of the room charge.
 - (2) Up to 6hours : 50% of the room charge.
 - (3) More than 6hours : 100% of the room charge.

Compliance with the House Rules

Article 10. The Guest shall comply with the Terms and Conditions for Accommodation and the house rules established by the Facility, including those displayed within the premises (such as guidance and notices posted throughout the hotel).

2. In addition to the provisions of the preceding paragraph, guests must follow any instructions deemed appropriate by the facility from the perspective of safety and hygiene. If a guest fails to comply with such instructions without legitimate reason, the facility may refuse accommodation or terminate the accommodation contract in accordance with the provisions of Articles 5 and 7, and the guest may be required to vacate the premises.
3. If a guest fails to follow the facility's instructions based on Article 1 or the preceding paragraph without legitimate reason, the facility may refuse accommodation or terminate the accommodation contract in accordance with the provisions of Articles 5 and 7, and the guest may be required to vacate the premises.

Business Hours

Article 11. The business hours of the Hotel's main facilities are as stated below. Details regarding the business hours of other facilities are described in pamphlets, postings, and at each location, service directories in each room, etc.

- (1) Front desk
 - A. Closing time : 11:00pm
 - B. Front Desk : open hour 7:00am~11:00pm
 - (2) Restaurant
 - A. Breakfast : 7:00am~10:00am
 - B. Lunch : 11:30am~2:00pm
 - C. Dinner : 5:30pm~8:30pm
 - (3) Auxiliary facility
 - A. Cafe : 8:30am~6:00pm
 - B. Shop : 8:30am~7:30pm
 - C. Bath house : 3:00pm~11:00pm
6:00am~9:00am
2. The hours stated in the preceding paragraph may be changed temporarily in the case of unavoidable events. Guests will be informed of such changes through appropriate means.

Payment of Charges

Article 12. The breakdown and method of calculation of the accommodation charges, etc. to be paid by the Guest are as described in attached Table 1.

2. The accommodation charges, etc. stipulated in the preceding paragraph shall be paid by the Guest at the front desk upon his or her departure or when the Hotel requests payment. Payment shall be made in Japanese currency or with a traveler's check, coupon, credit card, etc. that has been approved by the hotel, or by other appropriate means.
3. Accommodation charges shall be paid even if the Guest does not use the room provided by the hotel for his or her usage.

Liabilities of the Hotel

Article 13. The Hotel shall compensate the Guest for damages in the event the fulfillment or nonfulfillment of the Accommodation Contract or related contract(s) result in damages for the Guest. However, this shall not apply to damages stemming from reason for which the hotel is not liable.

2. The Hotel has received a "Pass" certification from the fire department. The Hotel is covered by a hotel liability insurance policy, which covers fires and natural disasters

Handling when the Hotel is unable to provide a room

Article 14. In the event the Hotel is unable to provide the room contracted for to the Guest, it shall, with the Guest's consent, act as a mediator and exert every effort to find an accommodation with identical conditions elsewhere for the Guest.

2. When the Hotel cannot arrange a room elsewhere, notwithstanding that specified in the preceding paragraph, the Hotel shall pay the guest compensation corresponding to the amount of the breach of contract fee and compensation shall be applied to the amount for damages. However, when the Hotel cannot provide a room due to causes for which it is not liable, no compensation will be paid.

Handling of Deposit Articles

Article 15. With regard to valuables and cash deposited at the front desk by the guest, the hotel will compensate the guest for any breakage, loss or damage incurred. However, this does not apply if the reason is not attributable to our hotel.

2. With regard to articles, cash and valuables brought into the hotel by guests which are not deposited at the front desk, the hotel will provide compensation when the breakage, loss, damage or such occurs as a result of negligence or intent on the part of the hotel. However, with regard to cases in which the guest failed to inform the hotel beforehand of the type and value of the articles deposited, the compensation from the hotel for the loss or damages shall be limited to a maximum of 150,000yen, save for cases in which there has been gross negligence or intent on the part of the hotel.

Storage of Baggage and Belongings of the Guest

Article 16. When the Guest's baggage arrives at the Hotel prior to the Guest's arrival, it shall be stored only in the case in which the Hotel has accepted the request for its storage and the baggage shall be given to the Guest at the front desk upon his or her arrival.

2. When a Guest's belongings or baggage is found after the Guest checks out and the owner has been determined to be the Guest, the Hotel will contact the owner and ask for further instructions. However, in the absence of instructions from the owner or in cases in which the owner cannot be determined, the Hotel shall store the item(s) for 7days, including the day of discovery of the same, after which the item(s) shall be turned over to the nearest police station.
3. The Hotel's liability with regard to the Guest's Belongings or baggage described in the preceding two paragraphs shall be assumed in accordance with that described in Paragraph 1 of the preceding Article in the case of Paragraph 1 and in accordance with Paragraph 2 of the same article in the case of the preceding paragraph.

Internet communication

Article 17. The use of internet communication within the facility shall be carried out at the guest's own responsibility.

2. The service may be interrupted or terminated without prior notice due to system failures or other reasons.
3. If the service is interrupted due to system failures or other reasons during the use of internet communication, and as a result, the guest incurs any damages, the facility shall not be held responsible if such damages are not caused by the facility's own fault.
4. If actions deemed inappropriate by our facility in the use of internet communications are likely to cause or actually cause damage to our facility or third parties, we may demand the suspension of the service usage, and you will be required to compensate for any resulting damages.

Liability with regard to parking

Article 18. In the case where the Guest uses the Parking lot affiliated with the Hotel, regardless of whether or not the vehicle keys are deposited, the Hotel is not responsible.

Liability of the Guest

Article 19. When the Guest intentionally or negligently damages the Hotel, the Guest shall compensate the Hotel for the damage.

Regarding Smoking

Article 20. Smoking is strictly prohibited throughout the entire facility, and therefore no smoking areas are provided. Please refrain from smoking—including the use of electronic cigarettes and heated tobacco products—in guest rooms or anywhere else inside the facility.

2. If you wish to smoke, please use one of the designated smoking areas:
 - Smoking area next to the main entrance on the 1st floor
 - Smoking area at the entrance on the B1 floor
3. If smoking or cigarette butts are found in guest rooms or elsewhere inside the facility, a cleaning fee and a room damage compensation fee of 100,000 yen will be charged.

Privacy policy

Article 21. Based on the Hotel's privacy policy, all information given by the individuals will be treated appropriately.

Attachment Table 1.

Breakdown of Accommodation Charges, etc.

(Cf. Article 2, Paragraph 1 and Article 12, Paragraph 1)

		Description
Total amount to be paid by the Guest	Accommodation Charge	①Basic Accommodation Charge (Room Charge)
	Additional Charge	②Food and Drink Charge ③Other usage Charge
	Tax	④Consumption Tax ⑤Accommodation Tax

Attachment Table 2

Breach of Contract Charges

(Cf. Article 6, Paragraph 2)

Cancellation Received No. of Guests Canceling		No Show	Day of Accommodation	Day Prior to Accommodation	9 Days Prior to Accommodation	20Days Prior to Accommodation
General	1 to 14	100%	80%	20%		
Group	15 to 49	100%	80%	20%	10%	
	50 or more	100%	100%	80%	20%	10%

- Note**
1. The percentages indicate the breach of contract rate applied to the Basic Accommodation Charges.
 2. The Guest shall pay a breach of contract charge of a single day's (initial day's) worth of charges in the case where the number of days contracted for is reduced regardless of the number of days reduced.
 3. In the case of the cancellation of Party of a Group (15 or more persons)., the cancellation charges equivalent to 10% of the number of persons (fractional amounts calculated as a whole number) booked as of 10 days prior to the accommodation (when notifications are received later than 10 days prior, the day on which the notification was received) shall not be charged.

■知恩院 和順会館利用規則

当館ではお客様に安全かつ快適にご滞在いただくため、
宿泊約款第 10 条に基づき、次の通り利用規則を定めておりますので、ご協力下さいますようお願い申し上げます。
この規則を遵守いただけない場合は宿泊約款第 7 条により宿泊または館内施設のご利用をお断り申し上げ、かつ
責任をお取りいただくこともございますので、特にご留意くださいますようお願い申し上げます。

火災予防上お守りいただきたい事項

1. 廊下及び客室内では暖房用、炊事用などの火器及びアイロン等を持ち込みご使用なさないでください。
2. ベッドの上など火災の原因となりやすい場所で喫煙なさないでください。
3. その他火災の原因となるような行為をなさないでください。

保安上お守りいただきたい事項

1. ご滞在中お部屋から出られる時は施錠をご確認ください。
2. ご滞在中や特にご就寝中の時はドアの内鍵をお掛けください。
来訪者があった時は不用意に開扉なせず、ご確認ください。万一不審者と思われる場合は直ちにフロント（ダイヤル 9 番）へご連絡ください。
3. ご訪問客と客室内でのご面会にご遠慮ください。

貴重品、お預かり品のお取り扱いについて

1. ご滞在中の現金、貴重品はフロントにお預けくださるようお願いいたします。
上記手続きをおとりにらずに、現金、貴重品の滅失、紛失、毀損、盗難等によって生じた損害については賠償いたしかねる場合もございますのでご承知ください。
2. お忘れ物、遺失物の処置は法令に基づいてお取り扱いさせていただきます。

お支払いについて

1. 館内のレストランなどを署名でご利用になる場合は必ず客室の鍵をご提示ください。
2. 都合により到着時にお預かり金を申し受ける場合がございますのでご了承ください。

3. お勘定は 7 日毎にお支払いください。7 日以内でも当館から請求があった場合にはお支払いください。
4. ご宿泊日数を延長なさる場合は、それまでのお勘定をお支払いください。

お止めいただきたい行為

1. 館内に他のお客様の迷惑になるようなものをお持ちになること。
(犬、猫、小鳥、その他の動物、火薬や揮発油など発火性または引火性のもの、悪臭を発するもの、著しく多量な商品、その他法令で所持を禁じられているものなど)
2. 館内でとばくや風紀、治安を乱すような行為や高声、放歌、テレビやラジオの高音など他のお客様の迷惑になるような言動をなされること。
(宿泊約款第 5 条および京都府旅館業法施行条例第 4 条の規程に反する行為)
3. 当館の許可なく館内で広告物の配布や物品の販売をなさること。又客室を宿泊以外の目的にご使用になること。
4. 館内の設備、備品を所定の場所以外に移動させたり、用途以外にご使用になること。
5. 会館の建築物や諸設備に異物を取付けたり現状を変更するような加工をなさること。
6. 会館の外観を損なうような物品を窓側に陳列なさること。
7. 窓から物品をお投げになること。
8. 館外から飲食品の出前をお取りになること。
9. ゆかた、スリッパ等で館外にお出かけになること。

■ Regulation

To ensure your safety and comfort, and in accordance with Article 10 the Hotel Law,
We have established the following rules with which we hope you will co-operate,
As is stipulated under Article 7 of the Hotel Law, guests may be held responsible for
the results, of their action or may be asked to leave if they break these rules.

Fire Safety

1. Appliances such as portable heaters or stoves are may prohibited within the Hotel.
2. Smoke in bed or any other place, where there is fire hazard is prohibited.
3. Please avoid any action which might cause an accidental fire.

Room Security

1. When you leave your room, please check the door to see that it is locked properly.
2. When you are in your room, please make sure the door is locked, and the door guard is in place. Please be particularly careful of this before you go to sleep. Should a visitor knock on your door, please ascertain who is there before opening. If you are bothered in any way, or worried about someone who is at the door, please dial 9 for assistance.
3. Please avoid bringing visitors to your room.

Valuable and items Deposited with the Hotel

1. During your stay, please check money or valuables with the Front Desk. The Hotel will not always be held responsible for theft or loss of money or valuables not deposited with the Front Desk.
2. Items left behind in the Hotel will be dealt with according to the law.

Payment of Bills

1. When you wish to sign for the bill in a restaurant or tea-room in the Hotel, please show your room key.
2. A deposit may be required at the time you check into the Hotel.
3. Please pay your bill at least every seven days.
The Hotel may request earlier payment.
4. If you decide to extend your stay, please pay all bills due.

Prohibited Behavior

1. The following items are prohibited in the Hotel:
 - a) animals or birds
 - b) items with a strong, offensive odour
 - c) ignitable or inflammable material
 - d) material of great bulk
 - e) any item prohibited by law
2. Gambling or other immoral behavior is prohibited in the Hotel. Anything, which might bother other guests, such as singing or talking loudly is also against the rules.
3. Activities such as the distributing of advertising materials among other guests without permission are prohibited. Likewise, hotel guests are prohibited from using their rooms as offices or for other business activities.
4. No equipment in the Hotel may be moved from its proper location or used for a purpose other than that for which it was intended.
5. It is prohibited to make any change in the Hotel's existing conditions by installing any other object or processing the structures and accommodations.
6. It is prohibited to put any object near the windows in such a way that the exterior appearance of the hotel might be spoiled.
7. Throwing any object from the window, is not allowed.
8. It is prohibited to have food or beverages delivered from outside the Hotel.
9. Slippers and yukata (kimono gown) should not be worn outside of Hotel.

■防災のご案内

この度は知恩院 和順会館にご宿泊いただきまして誠にありがとうございます。

当館は万一の火災や地震に対して、防災設備を完備し定期的防災訓練により職員の教育を徹底させ、お越しいただいたお客様の安全確保には万全の体制を整えております。

記

- | | |
|---------|---|
| 1. 防災設備 | 全館に、煙感知器・熱感知器、スプリンクラー、消火栓、消火器、非常用灯、排煙装置を備えております。また、消防署への自動通報システムが完備しています。 |
| 2. 非常口 | 各階に非常口および避難器具を設置しております。 |
| 3. 放送設備 | 非常ベルのほか非常用放送設備を完備しており、非常の際は館内放送でもお知らせいたします。 |
| 4. 防火区画 | 館内は防火シャッター、防火扉によって仕切られ、一つ一つが防火区画となっております。 |
| 5. 防災加工 | 館内で使用しております、寝具、じゅうたん、カーテン、壁面・天井クロスは防災加工を施したものを使用しております。 |

万一の火災発生の場合は

1. ダイヤル9番 フロントにご連絡ください。
2. スプリンクラーがすぐ放水します。また、排煙装置も作動しますので、行動は冷静にお願いします。
3. 非常ベル、非常放送等で状況により各階毎、または全館一斉にお知らせいたしますので、係員の案内等により、各階の両端に設置してある非常口から避難ください。
4. 煙を吸わないよう、口と鼻に濡れタオルをあて、壁に沿って低い姿勢で非常口へ避難してください。
5. お部屋から避難する場合は、延焼防止のため、必ず扉をお閉めください。
6. エレベーターのご使用は危険ですのでおやめください。

お願い

1. お休み前には、お部屋入口ドア内側の案内図で、お部屋の位置と非常口の位置および懐中電灯をご確認ください。
2. ベッドでのタバコはたいへん危険ですので絶対にお止めください。
3. 電気スタンドの傘に物を掛けて乾かしますと火災の原因となり、たいへん危険ですのでお止めください。
4. 炊事用火器およびアイロン等のご使用にならないでください。

■ Notice

The Chion-in Wajun-kaikan wishes to thank you for your patronage and hopes
That you have an enjoyable stay. At this time, we refer you to information concerning out Emergency Fire
And Earthquake Safety Precaution Measures. This Hotel Staff also supports its own fire fighting team
which carries out a routine fire drill every month for the safety and welfare of our guests.

List of Fire Safety Measures, Equipment and Precautions:

1. Automatic sensor system, the installation of both smoke and heat detectors.
2. Sprinkler system, installation has been made on each floor of the Hotel.
3. Fire hydrants and hoses each floor has been equipped with its own fire fighting equipment.
4. Fire extinguishers, have been placed on each floor.
5. Emergency Lighting System to illuminate each room, the corridor and emergency stairway in case of loss of power.
6. Smoke ducts are installed on each floor.
7. Emergency alarm, bells, sirens and P.A. system will be used to alert all out Guests of any emergency.
8. Fire protective system encloses the corridor and each room separately through fire walls and fire doors.
9. Fire proof materials the carpets, curtains, wall cloth and ceiling cloth and made of non-flammable fabrics.

In Case of Fire

1. Please contact the Font Desk. (Dial 9)
2. The sprinkler system and smoke ducts will start to operate immediately. We request our Guests to stay calm and follow instruction for evacuation.
3. All occupants will be notified through our emergency alarm system. Please follow instructions from our P.A. system and staff for evacuation and using the emergency exit.
4. Please carry a Wet Towel to cover your nose and mouth to avoid breathing in any smoke and walk in a crouching style against the wall towards the nearest emergency exit.
5. It is requested that you carry your room key with you and close the door to your room to prevent the fire from spreading.
6. The elevator is not to be used during an emergency evacuation.

Protective Measures

1. It is requested that you familiarize yourself with the emergency floor diagram on the back side of your room door and also make sure you know the location of the emergency flashlight.
2. No smoking in bed.
3. Do not cover the lamp shade with any wet items for drying.
4. The use of electric appliances (cooking, ironing, heating, & etc.) in the rooms is prohibited.